

## 第6年1組 国語科学習指導案

1. 単元 学級討論会をしよう ～授業中の話し方を習得しながら～

### 2. 単元目標

(1) これまでの言語生活を振り返り、授業の中で正しく話し方を使おうとする。

〔国語への関心・意欲・態度〕

(2) 討論の話題について、賛成・反対・補足など様々な意見を考えて発表することができる。

〔話す・聞く能力〕

(3) 討論を意識して、場に相応しい言葉を使っている。〔言語についての知識・理解・技能〕

### 3. 指導にあたって

#### (1) 教材観・・・『教材を通して話す・聞く力をつける』

話す・聞く指導は、教師の強い意志から生じる。国語科の単元には、「話すこと・聞くこと」の時間数が明示されているにもかかわらず、実際は話すことや聞くことの活動よりは、読んで終わり、書いて終わりの学習が多く、これでは児童の「話す・聞く力」は身につかない。そこで今回は意図的に4月当初に単元設定をした。はじめに相手や状況によって話し方を使い分ける力を身につける。次に日常生活に関連した身近な話題を討論会に取り上げることで、徐々に自分の思いついたことや、自分の主張したいことを相手に分かりやすく、適切な表現方法を用いて話し合うことで学習意欲を高めるつもりである。他教科でも話し合い活動を積極的に取り入れることで学習の定着を一層図りたい。

#### (2) 児童観・・・『生きる力としての表現力を身につける』

他と積極的に関わり交流するためには話し合う力が必要である。現代社会では今後ますますその頻度は高まり重要な位置を占めるであろう。そこで学校をリードする上級生として場に合った話し方を身につけ、討論会に積極的に参加してほしい。そして生きる力としての表現力を一人ひとりが自分の能力に合わせて自ら涵養して欲しいと考える。

#### (3) 指導観・・・『楽しい、面白い、学んでよかった!!』

生徒指導の三機能を念頭に置き、一人ひとりの学習を認め励ましたい。そのためにも、日頃から何事でも話すことが出来る学級作り、満足感を持てる学習の場づくりを心がけている。クラス児童のニーズや興味・関心を嗅ぎ分け、彼らに適した学習内容を提供することで、子ども達のよさを多くを引き出したい。そして、学習になかなか取り組めない児童の成長を厳しく温かく気長に見守り続けたい。

### 4. 指導と評価の計画（総時数 7時間）

第一次（1時） ・授業中の話し方を習得し使い方をまとめながら理解する。

第二次（5時） ・学級討論会をしよう

第三次（1時） ・学習したことを日常で使えるようにする。

5、本時の学習（第二次の4）

(1) 目標 状況に応じて、賛成・反対・補足などの意見を考えて発表することができる。

(2) 本時の評価規準

・ 討論の話題について、賛成・反対・補足など様々な意見を考えて発表している。

(③話・聞能力)

(3) 準備 挿絵、賛成・反対カード

(4) 展開（学習活動と評価）

学習活動 ・ 児童の反応	T	指導上の留意点（支援）	評価
1. 前日までの学習を確認する *教科書の黙読にて自分の学習努力を確かめる	0 5	*自らの本読みを学習の始まりと習慣化させている	
2. 本時の学習内容をつかむ *状況を理解して話し方を考える	6	*前日までの学習を楽しく振り返ることで定着を深める	
<b>話し方を確かめよう!!</b>			
・ 年上の人には○△語を使おう	15	*挿絵を効果的に使う	
3. 本時の学習課題に迫る *全員で音読する（P46～P49）	16	*全員で音読することで学習の一体感と所属意識を高めさせる	
<b>学級討論会をしよう!!</b>			
*本日の討論内容を決める <b>【題目①：宿題はないほうがいい?】</b> *題目に対して、賛成・反対の意思を鮮明にする ・ 難しい、微妙? *賛成・反対理由をノートにまとめる	20	*見通す場を設定する *司会係の自主的な運営を促し、滞った場合の確認をする *考えがまとまらない児童に対して、教師のつぶやきなどの考えるヒントを与える	
<b>討論会スタート!?</b>			
*討論会用座席に衣替えする。 *煮詰まったら、参考資料（新聞）を読み、話し合いを再開する	40	* 学級会ではないので、一つの決まりを作り上げるものでなく、あくまでも既習事項を生かして、話し合うことに力点を置く	討論の話題について、賛成・反対・補足など様々な意見を考えて発表している【評価の観点③】
4. 本時の学習をまとめる		*本日の学習参加意識を確認し、次時の学習を提示する	